

届出施設設置（使用・変更）届出書

年 月 日

阪南市長様

届出者住所

氏名

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

大阪府生活環境の保全等に関する条例第19条第1項(第21条第1項・第23条第1項)の規定により、届出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		(電話番号)	※整理番号	
工場又は事業場の所在地			(郵便番号)	※受理年月日
届出施設の種 類			※施設番号	
			※審査結果	
ばい煙	ばいじん、有害物質	届出施設の構造	別紙1の1のとおり	※備考
		届出施設の使用又は管理の方法	別紙1の2のとおり	
		ばい煙等の処理等の方法	別紙1の3のとおり	
揮発性有機化合物		届出施設の構造及び使用又は管理の方法	別紙1の4から別紙1の12までのとおり	
		ばい煙等の処理等の方法	別紙1の3のとおり	
特定粉じん		届出施設の構造	別紙2の1のとおり	
		届出施設の使用又は管理の方法	別紙2の2のとおり	
		ばい煙等の処理等の方法	別紙2の3のとおり	
一般粉じん		届出施設の構造、使用又は管理の方法及びばい煙等の処理等の方法	別紙3の1から別紙3の4までのとおり	
添付書類 1 届出施設及びばい煙等の処理等を行う施設の設置場所を明記した図面（工場又は事業場の平面図） 2 工場又は事業場の付近の見取り図（指定有害物質以外の有害物質及び指定特定粉じん以外の特定粉じんに係る届出の場合に限る。） 3 変更概要説明書（変更届の場合に限る。）				

参 考 事 項

工場又は事業場の事業内容		届け出すべき者が常時使用する従業員数	
工場又は事業場の規模		資 本 金	
当該届出についての担当部課名及び緊急時連絡先(電話番号)			

- 備考 1 届出施設の種類の欄には、大阪府生活環境の保全等に関する条例施行規則別表第3第1号から第5号までに掲げる項番号及び名称を記載すること。
 2 別紙については、届出施設の種類に応じて、必要なものを添付すること。
 3 ※印の欄には、記載しないこと。

工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規 模	ベルト幅 (cm)		
	バケット内容積 (m ³)		
	単基の長さ (m) × 基数		
	ベルトの速度 (m/分)		
	バケットの速度 (m/分)		
	運搬能力 (t/h)		
	原動機の定格出力 (kW)		
	処理能力 (t/h)		
添付書類 届出施設の構造概要図（主要寸法を記入すること。）			

備考 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記載すること。

工場又は事業場における 施設番号					
使用状況	1日の使用時間及び 月間使用日数等	時から 時まで 時間/回 回/日 日/月		時から 時まで 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動				
原材料 (特定粉じんの発生に 影響のあるものに 限る。)	種類				
	使用割合				
	原材料中の成分割合 (%)				
	1日の使用量				
施設の使用形態					
排出ガス量 (Nm ³ /h)	湿り	最大	通常	最大	通常
	乾き	最大	通常	最大	通常
排出ガス温度 (℃)					
特定粉じんの 濃度	(mg/N m ³)	最大	通常	最大	通常
	(mg/N m ³)	最大	通常	最大	通常
	(mg/N m ³)	最大	通常	最大	通常
	(mg/N m ³)	最大	通常	最大	通常

ばい煙等の発生及び処置等 に係る操業の系統の概要 (作業工程)	
---------------------------------------	--

- 備考
- 1 原材料中の成分割合(%)の記載に当たっては、重量比(%)又は容量比(%)の明らかにすること。
 - 2 特定粉じんの濃度は、乾きガス中の濃度とする。
 - 3 特定粉じんの濃度は、ばい煙等の処理等を行う施設がある場合は、処理後の濃度とする。
 - 4 施設の使用形態については、届出施設からの排出ガス抑制方法(排ガス処理又は密閉構造等)について記載すること。ただし、密閉構造の場合は、次の工程等での作業及び排出状況を明らかにすること。

ばい煙等の処理等を行う施設の工場又は事業場における施設番号				
処理等に係る届出施設の工場又は事業場における施設番号				
ばい煙等の処理等を行う施設の種類、名称及び型式				
設	置	年	月	
日		年	月	
日		日	日	
着	手	予	定	
年	月	年	月	
日		日	日	
使	用	開	始	
予	定	年	月	
年	月	日	日	
処 理 能 力	排出ガス量 (Nm ³ /h)	最	大	
		通	常	
	排出ガス温度 (°C)	処	理	
		前	後	
	特 定 粉 じ んの 濃 度	(mg/N m ³)	処	理
			前	後
			処	理
	(mg/Nm ³)	処	理	
		前	後	
		処	理	
	(mg/Nm ³)	処	理	
		前	後	
処		理		
(mg/Nm ³)	処	理		
	前	後		
	処	理		
使 用 状 況	1 日 の 使 用 時 間 及 び 月 間 使 用 日 数 等	時 間 / 回、 回 / 日、 日 / 月	時 間 / 回、 回 / 日、 日 / 月	
	季 節 変 動			
排出口の実高さ H _o (m) 及び頂上口径 D (m)		H _o	D	
排 出 口 の 番 号				
排出口の中心からその至近距離にある敷地境界線までの水平距離 (m)				
添付書類 ばい煙等の処理等を行う施設（煙突、フード、ダクト等を含む。）の構造概要図（主要寸法及び測定箇所を記入すること。）				

排出口の中心からその至近距離にある他人の所有する建築物（倉庫等は除く。）の実高さ h(m) 及び水平距離 d(m)	h d	h d
ばい煙等測定口の有無及び口径	有（口径 mm） ・ 無	有（口径 mm） ・ 無
届出施設（指定特定粉じんに係るものに限る。）に係る使用及び管理の状況の記録事項		

- 備考 1 設置届出の場合には着手年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記入すること。
- 2 特定粉じんの濃度は乾きガス中の濃度とする。
- 3 参考事項として、処理効率に係る設計上の基本的事項に関する資料を添付すること。